

平成23年度消防功労者消防庁長官表彰 ～おめでとうございます

築上町消防団分団長の辻清一さん（湊南）が、消防庁長官から永年勤続功労章を受けました。辻さんは、昭和57年に旧椎田町消防団に入団。以来長年にわたり、豊富な消防知識と経験で、町の防災に貢献してきたことが認められ、今回の受章となりました。



福岡県道路功労者県土整備事務所長表彰 ～おめでとうございます

5月11日、豊前市の県土整備事務所で奈古自治会が福岡県道路功労者県土整備事務所長表彰を受けました。奈古自治会は、長年に渡って県道の河川の清掃を行っており、その功績が認められ今回の受章となりました。

道路の美化活動で県知事から感謝状～おめでとうございます

町内の自主活動グループ「やる気塾」が福岡県知事から感謝状を受けました。やる気塾は、自ら企画、自ら実践をモットーに、環境・健康に関わる活動を行う自主グループで、定期的な道路美化活動を行い、つねに道路を清潔で良好な状態にしておくよう努め、歩道の除草と周辺のごみ収集と廃棄、県道などで美化活動を実施しています。代表の木部義寿さんは「県道沿いも含めて自治会や住民の方々の協力を得て、美化活動がさらに浸透していけば」と話しました。



男女共同参画ネット講演会

4月22日、中央公民館で男女共同参画ネット総会・講演会が行われました。当日は、「男女の『知・働・等』で住みよい町へ！」と題し、元あすばる館長の中嶋玲子さんが講演を行いました。中嶋さんは講演の中で「地域づくりは、老若男女による住民参画が必要。そして個人の困っていることを地域社会の問題として捉える視点が大切」と話し、男女共同参画社会を目指した変革の必要性を強調しました。

町民大学開講式

4月26日、中央公民館で平成24年度町民大学開講式が行われました。今年度の受講者は214人。来賓の方からは「学びたいという気持ちは何歳になっても大切。この町民大学を通して、様々なこと学び、自分を磨いてほしい」と受講者に向け、激励の言葉が送られました。受講生は一年間、それぞれの分野でたくさんの知識と経験を身に付けていくことでしょう。



築 上町商工会発足記念 「ちくじょう音楽祭inコマーレ」

5月12日、コマーレで「ちくじょう音楽祭inコマーレ」が開催されました。これは4月1日、椎田・築城両商工会が新たに発足したことを記念して行われたものです。当日は、築城基地音楽部（JAM）や航空自衛隊西部航空音楽隊による演奏が行われ、素晴らしい演奏に来場者は魅了されていました。

また、東日本大震災における自衛隊の被災地支援活動とブルーインパルスの写真展も同時に開催され、多くの人が見入っていました。



神 幸祭

4月下旬から5月初旬にかけて、町内各地域で神幸祭が行われました。毎年この季節は五穀豊穡、無病息災、家内安全を願い、祭り一色となります。各地域では帰省した親子連れなどたくさんの人が参加し、会場にはお囃子や太鼓の音が鳴り響いていました。

勾 玉づくり教室

5月3日、ゴールデンウィークの真っ只中、約40人の参加者が船迫窯跡公園古代復元建物で古代のアクセサリー“勾玉”づくりと火起こしを体験しました。勾玉は滑石を紙ヤスリで磨いてつくります。仕上げに水ヤスリで丁寧に磨いて光沢のある勾玉の完成です。勾玉製作後、舞錐式（まいぎりしき）発火法による火起こしを体験しました。数人一組で協力しながら穂先を回転させました。できた火種をチガヤの毛と麻布で包み、できるだけ空気に触れるように力いっぱい回転させます。汗をかきつつ苦勞が実って炎があがると、参加者全員から拍手と歓声があがりました。



保 育園で交通安全教室

5月8日、椎田保育園で交通安全教室が行われました。これは、園児に交通安全の正しい知識をわかりやすく解説し、登下園時や日常生活の中で役立ててもらおうと行われているものです。当日は、豊前署の職員が道具を使って信号機の正しい見方や横断歩道の渡り方を説明しました。横断歩道を渡る練習では、園児はまっすぐに手をあげて渡るなど、交通安全の知識を身につけました。

第 50 回福岡県身体障害者体育大会で 優秀な成績収める

5月6日、博多の森陸上競技場及びクローバープラザで第50回福岡県身体障害者体育大会が行われました。当日は天候にも恵まれ、白熱した試合が繰り広げられました。

結果は次のとおりです。（敬称略）

- 1位 宇多村多喜夫（ソフトボール投げ）
- 2位 頭島安雄（シャベリックスロー） 高辻佑吉（100m）
- 3位 尾崎昭富（卓球）、福内宗一（ディスリート5m）
向井義信（100m） 吉留順治（シャベリックスロー）

